

チャレンジの舞台は、熱気あふれる新興国！

語学力を超えたグローバルコミュニケーション能力を身につけ、リーディング企業を目指す。

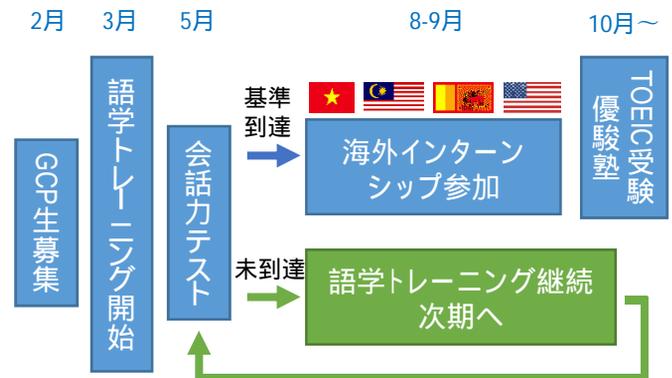
2021年度夏期グローバルキャリアプログラム募集要項 (海外インターンシップ)



概要

グローバルキャリアプログラムは、グローバル企業への就職等、グローバル人材としてのキャリア形成に向けて、様々な学びと成長の機会を提供するものです。審査を経てグローバルキャリア生(GC生)として登録された学生は、海外インターンシップ参加候補者として、大学の受講料補助を得て語学トレーニングプログラム(詳細は裏面参照)を受講。定められた語学レベルをクリアすることで、大学の補助を得て低コストで海外インターンシップに参加できます。

プログラム毎に定員と選考があるため、基準をクリアしても参加できない場合があります。また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大状況によっては、現地派遣プログラムは中止となる場合があります。



夏期(8月～9月)実施海外インターンシッププログラムについて

主な現場は熱気あふれる新興国！現地派遣プログラムも募集しますが、最終的な実施可否は6月に決定します(COVID-19の感染拡大状況によっては実施の直前や実施中に中止となる可能性もあります)。現地派遣プログラムが中止になった場合、オンライン型プログラムのみ実施します。

参加に向けては、3月からオンラインの語学トレーニングを実施し、5月末に会話力テストを受験。結果を参考に最終選考を行い、参加者を決定します。語学トレーニングとインターンシッププログラムがセットになっている点に注意してください。また、インターンシップ参加後にはTOEIC IPテストを受験し、大手・上場企業への就職を目指す特別プログラムである「優駿塾」に参加します。

募集プログラム 別ページ(裏面)参照。

応募期間 2月1日(月)～2月18日(木)13:00 2週間程度しかないので注意！

応募方法 説明会参加者に配信される応募フォームより。応募期間内にアクセスし、必要事項を入力すること。志望動機など記述欄もあるので、早めに一度内容を確認しておいてください。

参加条件

- プログラムの趣旨をよく理解しており、参加に向けた強い意欲と目的意識があること。
- 通算GPAが2.2以上であること。
- 語学トレーニングを受けてもらうため、応募の時点では語学レベルは問いません。
- 最終的にはプログラム毎に設定された英会話レベルをクリアする必要がありますので注意してください。
- 実習地域で1年以上の滞在歴がないこと(本学の派遣交換留学を除く)。
- 以下の内容を理解し同意していること。

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大や派遣地域の情勢などにより、現地派遣のプログラムについては中止、もしくはオンラインプログラムへの変更をお願いする場合があります。現地派遣プログラム実施の判断は6月におこないますが、常に急遽中止・中断等の可能性があります。
- ・ 特に現地派遣プログラムについては、必ず保護者の方と相談のうえ、同意を得てエントリーしてください。
- ・ 説明会参加者に対する海外インターンシップ関連のお知らせはHarukaメールにお送りします。毎日確認するようにしてください。確認方法については情報メディア課のHPを参照してください。情報メディア課: <https://www.ccile.otemon.ac.jp/>

参加の流れ 応募 選考(書類・Web面談) グローバルキャリア生登録 語学トレーニング参加費支払・申込書類等提出
3月語学トレーニング開始 5月英会話力テスト受験 6月最終選考、参加者決定
6月派遣プログラム実施可否決定 プログラム参加費等支払・手続き書類等提出 参加

語学トレーニングプログラム(全員受講必須)



CM等でお馴染みのレアジョブを導入！

インターネットを使ったオンライン英会話だから、いつでも、どこでも、ネット環境さえあれば自分の都合に合わせて学習できます。実際に「使える」英語力獲得のため、外国人講師とのマンツーマンレッスンを大量にこなします。インターン参加中には、その日つづいた表現の確認などで強力な支援ツールとなるはず。最大限活用しましょう！

開始3ヶ月時点で英会話力の判定テストを受験し、その判定レベルをもって海外インターンシップの選考に臨みます。受講期間は7か月間ですが、初めの3か月の受講状況が平均して1週間のうち5日を下回った場合はその時点でGCP生の登録が解除となり、以降の語学トレーニングや会話力テストは受講できません(受講費用は返金されません)。

また、上記の条件を満たしていても、いずれかの夏期出発の海外インターンシップに参加しない場合は継続することができません。たとえば現地派遣を希望しており、現地派遣プログラムが中止になった際、オンラインプログラムにも参加しない場合は残りの大学補助期間の受講はできませんのでご注意ください。

注意: **語学トレーニングのみの受講はできません。いずれかの海外インターンシッププログラムに申し込むことが必須となります。**

受講料金：25分間のレッスンが1日1回7ヶ月間、毎日受けられる日常英会話コース(大学が約6割補助！)
登録費1,000円 + 6,380円/月 × 7ヶ月 + 会話力テスト3,278円 + TOEIC IPテスト4,230円 = 53,168円 → **19,640円**

夏期(8月～9月)実施予定プログラム

現地派遣プログラムについては6月に実施可否の最終判断をおこないます。たとえ政府間で渡航そのものが解禁されていても、大学独自の基準によりプログラム中止とする場合があるので、その点理解の上で申し込んでください。

プログラム名	国・街	語学基準	概略	日数	実習先	英語活用	募集枠 ¹	参加費 ² (下段が大学補助後)	航空料金
実践型海外インターンシップinベトナム	ベトナム ホーチミン ハノイ	初級 レベル2	ベトナム進出企業からのミッションを受け、現地でのビジネスブートキャンプを経てベトナム人学生とともにマーケット調査を実施。語学を超えたグローバルコミュニケーション能力と、どこでも働ける自信を獲得する。	15日	日本企業	低～高	10人	約350,000円 約170,000円	参加費に 含む
英語で働く！ツーリズムマネジメントインターンシップ	マレーシア クアラルンプール	中級 レベル5	旅行社、現地社員のパディと日本人社員のサポートの下、販売可能なプランを企画。旅行業や、多国籍な職場での仕事のリアルを体感する。パディとのコミュニケーションをはじめ、社内では英語を使用。	14日	日系旅行社	中	5人	約240,000円 約190,000円	参加費に 含む
Global Marketing Online	オンライン 世界各地	初級 レベル3	完全オンラインで実在のアプリの海外展開に挑む真のグローバルビジネス経験。マーケット調査、分析を経て、立案したマーケティング施策を実際に展開。実際に企画から顧客の獲得までを経験できる。	約14 日	アプリ開発企業	低～高	10人	98,000円 48,000円	なし
英語で働く！ツーリズムマネジメントインターンシップ<オンライン版>	オンライン 参加者が多い 場合シンガポール 支店も加わる	中級 レベル5	旅行社、現地社員のパディのサポートを受けながら、販売可能なプランを企画する。オンラインツアー体験やグローバルビジネスのための特別研修を含む。パディをはじめ現地社員とのやりとりは英語。	10日	日系旅行社	中	10人	81,000円 41,000円	なし
タンザニアバーチャルインターンシップ	オンライン タンザニア	中～上級 レベル6	アフリカ・タンザニアのテレビ番組制作会社・太陽光システム開発企業・金融機関などでのインターンシップ。新興国の手心えある実習。言語は英語のみ。	約10 日 (予定)	テレビ制作会社、太陽光システム開発会社など	中～高	未定	約100,000円 約50,000円 (予定)	なし

注1 プログラム参加には、5月の会話力テストにおいてこの語学基準を満たす必要があります。

注2 募集枠は現時点での人数。増減の可能性あり。

注3 参加費には保険料など含まれていない追加費用もあるので留意すること。また、金額に 印がついているものは過年度の参考料金であり多少の前後があります。

参考: 会話力レベルの目安

この表はCFER-(日本語版1.1)、レアジョブ会話力スコア換算表を元にキャリア開発センターが作成したものです

	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	レベル7
聞く	日常生活の身近なトピックについての話を、ゆっくりはっきりと話されれば、場所や時間等の具体的な情報を聞きとることができる。	(買い物や外食などで)簡単な用をたすのに必要な指示や説明を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	学校の宿題、旅行の日程などの明確で具体的な事実を、はっきりとなじみのある発音で指示されれば、要点を理解することができる。	視覚補助のある作業(料理、工作など)の指示を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞いて理解することができる。	自分の周りで話されている少し長めの議論でも、はっきりとなじみのある発音であれば、その要点を理解することができる。	はっきりとなじみのある発音で話されれば、身近なトピックの短いラジオニュースなどを聞いて、要点を理解することができる。
話す	前もって発話することを用意した上で、日常生活の物事を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単に描写することができる。	前もって発話することを用意した上で、日常生活に関する簡単な事実を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で描写できる。	写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な句や文を使って、身近なトピック(学校や地域など)について短い話をする事ができる。	一連の簡単な句や文を使って、意見や行動計画を、理由を挙げて短く述べることができる。	自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について話ることができる。	自分の関心事であれば、社会の状況について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表し、聴衆から質問ができれば相手に理解できるように答えることができる。